



# 理化学研究所創立百周年記念事業報告書



## ごあいさつ



1917年（大正6年）、皇室御下賜金、財界・民間産業界からの寄附金、政府補助金により設立された理化学研究所は、2017年3月をもって創立百周年を迎えることができました。これもひとえに、今まで理研を支えてくださった皆様のご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

「我が国の産業発展に資すること」を目的として設立された財団法人理化学研究所は、戦後、株式会社、特殊法人、独立行政法人、国立研究開発法人、特定国立研究開発法人と、時代と国の要請に応じて組織形態を変えながら、今日までの百年間、科学技術史にその名を刻んで参りました。

社会に信頼される、かけがえのない研究所であり続けるために、百周年という節目を捉え、理研に縁（ゆかり）のある人々とのつながりを深めるとともに、国内外の人々と理研の関わりを広げる活動として、創立百周年記念事業を推進して参りました。

# 目次

我が国の未来を担う若手研究リーダーの育成等、本記念事業にご賛同いただき、お寄せいただいたご寄附につきましては、更なる社会への寄与となるべく、本記念事業展開のため、引き続き大切に使用させていただきます。多大なるご寄附を賜りましたこと、衷心より御礼申し上げます。

私達は国立研究開発法人の最大のミッションである「研究開発成果の最大化」を図り、自然科学の総合研究所として大きなビジョンと至高の科学力をもって、地球規模の課題に取り組み続けます。研究者の自立と豊かな発想を大切にしつつ、社会との「つながり」を強く意識し、豊かな国民生活の実現や、国際社会の発展に貢献して参ります。

次なる百年においても、理研の活動にご賛同いただき、引き続きましてのご支援、ご理解を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

2019年2月吉日

国立研究開発法人理化学研究所  
理事長 松本 紘

創立百周年記念事業概要	4
創立百周年記念事業収支報告	5
百周年記念式典・講演会・百年展等の開催	6
記念切手、記念誌 RIKEN RESEARCH、 書籍の発行等	
記念史料の収集・保存・展示	8
百年史及びダイジェスト版の発行、 百年タイムカプセル等	
百周年連携研究室等の設置	10
イノベーション事業法人の設立、 連携研究室の整備支援（現物寄附）	
国際水準の研究環境の整備	10
先端研究機器等の整備・充実（現物寄附）等	
「科学道 100 冊」の贈呈	11
若手人材のキャリア育成	12
国際シンポジウム開催補助、 若手研究者・技術者の顕彰等	
未来を共につくる研究の推進	13
研究課題を指定しての特定寄附	
創立百周年記念事業推進活動等	14
広報ツール、マスメディアによる広報等	
感謝状の贈呈等	16
寄附者特典等	
主な活動	18
百年の歩み	20

# 創立百周年記念事業概要

---

理化学研究所は、2017年3月に百周年を迎えることができました。

皆様のご協力により、様々な記念事業を推進できましたことを深く感謝申し上げます。

## ●百周年記念式典・講演会・百年展等の開催

記念式典、講演会、百年展などを開催し、産業界や社会、地域と連携。

## ●記念史料の収集・保存・展示

我が国の科学技術史に刻まれた理研の歩みを保存・編纂・展示し継承。

## ●百周年連携研究室等の設置

大学、企業及び理研の研究者が連携して研究開発活動を展開する連携研究室などの設置。

## ●国際水準の研究環境の整備

国内外の企業、大学等との連携、交流の場の整備など国際水準の研究環境の整備。

## ●「科学道100冊」の贈呈

未来を切り開く若者たちに、科学者の生き方・考え方、科学の面白さ・素晴らしさを伝える書籍の贈呈。

## ●若手研究人材のキャリア育成

次なる百周年を見据え、将来の世界的研究リーダーの育成など若手研究人材のキャリアアップを支援。

## ●未来を共につくる研究の推進

理研として挑戦すべき研究課題を選定し、未知に挑み、真理を探り、新たな未来をつくる研究活動の推進。



# 創立百周年記念事業収支報告

本記念事業は、創立百周年記念事業募集寄附金及びその他の理研予算により、実施致しております。皆様から多大なるご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

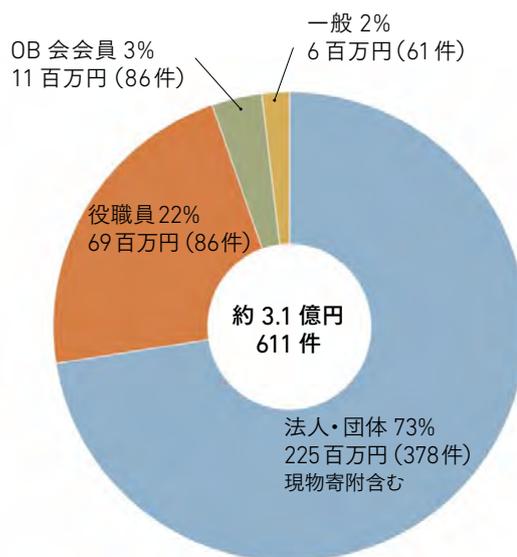
## I. 創立百周年記念事業募集寄附金の受入

目標額 10 億円

募集期間 2015年4月1日～2018年3月31日

寄附金受入実績	件数	金額 (円)
法人・団体	371	142,379,000
個人(役職員)	86	68,757,400
個人(OB 会会員)	86	10,621,000
個人(一般)	61	5,840,082
合計	604	227,597,482
現物寄附受入実績	件数	金額 (円)
法人	7	82,383,813
寄附金 + 現物寄附受入実績合計	件数	金額 (円)
	611	309,981,295

## 寄附者内訳 (金額ベース)



## II. 創立百周年記念事業経費の配分

### 1. 創立百周年記念事業募集寄附金の配分

	金額 (円)
記念史料の収集・保存・展示	28,047,130
*理化学研究所百年史(ダイジェスト版、英語版)の製作関連	3,250,071
*記念史料の収集・保存・展示等	24,797,059
百周年連携研究室等の設置	159,272,971
*産業界との共創機能の強化支援(イノベーション事業法人設立出資金)	90,000,000
*連携研究室の設置支援	69,272,971
国際水準の研究環境の整備	13,110,842
*先端研究機器等の整備・充実	13,110,842
「科学道 100 冊」の贈呈	29,166,927
*スーパーサイエンスハイスクールへの贈呈	29,166,927
若手研究人材のキャリア育成	53,000,000
*国際的な人材交流の促進	8,000,000
*若手研究者・技術者の顕彰	45,000,000
未来を共につくる研究の推進	7,485,000
*新しい元素を世界で初めてつくる研究	1,107,000
*未来志向の独創的な研究の推進	6,378,000
百周年記念事業の推進活動	19,898,425
<b>1. 創立百周年記念事業募集寄附金 計</b>	<b>309,981,295</b>

### 2. 創立百周年記念事業募集寄附金以外の運営交付金等からの配分

#### (1) 運営費交付金の配分

	金額 (円)
百周年記念式典、講演会、百年展等の開催	13,881,723
*創立百周年記念式典	2,221,777
*百年展の開催等	11,659,946
記念史料の収集・保存・展示	49,176,521
*理化学研究所百年史の製作関連	27,447,883
*歴史講演会の開催	5,645,217
*記念史料の収集・保存・展示等	16,083,421
百周年記念事業の推進活動	36,923,516
<b>運営費交付金 計</b>	<b>99,981,760</b>

#### (2) 創立百周年記念事業募集寄附金と運営費交付金を除く自己収入の配分

	金額 (円)
百周年記念式典、講演会、百年展等の開催	25,530,523
*開催会場経費(創立百周年記念式典及び交流会)等	25,530,523
<b>創立百周年記念事業募集寄附金と運営費交付金を除く自己収入 計</b>	<b>25,530,523</b>

2. 創立百周年記念事業募集寄附金以外の運営費交付金等 計 125,512,283

創立百周年記念事業経費 総計額 435,493,578 円

## 百周年記念式典・講演会・百年展等の開催

### ● 創立百周年記念式典

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、  
理化学研究所創立百周年記念式典を開催しました。

日時：2017年4月26日（水）15：00～

場所：東京国際フォーラム ホールC

—天皇皇后両陛下ご臨席

—祝辞：松野 博一 文部科学大臣

鶴保 庸介 内閣府特命担当大臣（科学技術政策）

マーティン・シュトラットマン マックスプランク協会会長

内山田 竹志 日本経済団体連合会副会長、

トヨタ自動車株式会社代表取締役会長

—百周年記念映像「理研百年の歴史」

—理事長講演「今後百年の礎を築き、未来を拓く」

—記念講演：梶田隆章博士

山中伸弥博士



「百周年記念映像」

映像を RIKEN Channel（HP）にて公開



理事長講演「今後百年の礎を築き、未来を拓く」

### ● 創立百周年記念交流会

理化学研究所と親しむ会との共催により、  
理化学研究所創立百周年記念交流会を開催しました。

日時：2017年4月26日（水）18：00～

場所：東京国際フォーラム ホールB7

共催：理化学研究所と親しむ会（現、理研と未来を創る会）



理化学研究所と親しむ会 桜井会長



研究者によるポスター説明



ホール B7 前の展示

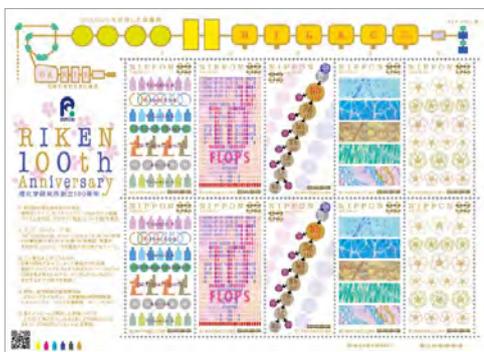
● 記念切手の発行

日本郵便株式会社より、記念切手が発行されました。

特殊切手「理化学研究所創立 100 周年」

発行日：2017 年 4 月 26 日

発行内容：82 円切手 10 枚 / 1 シート



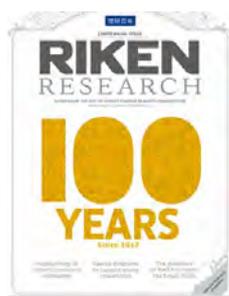
● 記念誌等の発行

① ブルーボックス（株式会社講談社）より

「理化学研究所—100 年目の巨大研究機関 山根一眞著」  
が 2017 年 3 月 20 日に発行されました。



② RIKEN RESEARCH 特集号を 2017 年 3 月 24 日に発行  
しました。



● 「百年展—お弁当箱（アルマイト）から  
ニホニウムまで—」の開催

2017 年 2 月～2018 年 4 月まで、全 5 会場でパネル展示  
及び講演会等を開催しました。

来場者数：のべ約 10 万人

① 国立科学博物館（上野）2017 年 2 月 28 日～4 月 9 日  
共催：独立行政法人国立科学博物館  
記念講演会 3 月 18 日

② 和光市民文化センター（サンアゼリア）  
2017 年 5 月 30 日～6 月 6 日  
共催：和光市、公益財団法人和光市文化振興公社  
科学と音楽のコラボ公演 6 月 3 日  
科学工作教室 6 月 4 日

③ 神戸市立青少年科学館 2017 年 7 月 20 日～8 月 23 日  
共催：神戸市立青少年科学館  
記念講演会 7 月 22 日、23 日

④ 仁科会館（岡山県浅口郡里庄町）  
2017 年 9 月 16 日～11 月 5 日  
共催：公益財団法人科学振興仁科財団

⑤ 科学技術館（北の丸）2018 年 3 月 17 日～4 月 8 日  
共催：公益財団法人日本科学技術振興財団



国立科学博物館 展示 1



国立科学博物館 展示 2



和光市民文化センター 展示



仁科会館テープカット

## 記念史料の収集・保存・展示

### ●「理化学研究所百年史」の編纂

我が国の科学技術史に資するため、理研の百年史を編纂し、公的機関、大学図書館等に贈呈の上、理研 HP で公開しました。(http://www.riken.jp/pr/publications/anniv/)

発行日：2018年3月20日

仕様：A4判、3分冊、全約1500頁、4色カラー、  
布クロス装、糸かがり綴じ、ケース付

#### 第I編 歴史と精神

理研の歴史／それぞれの100年／社会への還元／  
自立と自律を求めて／次の100年へ

#### 第II編 研究と成果

独立行政法人以降の研究体制／主任研究員研究室群 ILs /  
グリーンイノベーション／生命科学イノベーション /  
研究基盤イノベーション

#### 第III編 資料

年表／役員・所長・センター長一覧／理化学研究所の  
外部評価／国際協力の現状／組織・研究室の推移 / など



理化学研究所百年史

### ●「理化学研究所百年史ダイジェスト版」の製作

理化学研究所百年史をコンパクトに収めた一冊。  
一般のかたへ向けた理研の入門ガイドブック。

発行日：2018年

9月20日

仕様：B6判

160ページ

口絵4色カラー



理化学研究所百年史ダイジェスト版

### ●「A Century of Discovery」の製作

理化学研究所百年史英語版として、国内外の方々へ向  
けて、理研の歴史を紹介した一冊。

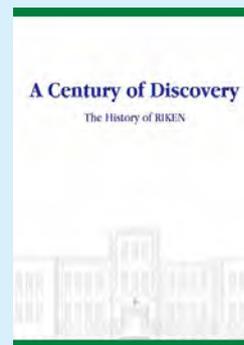
発行日：2019年

3月20日

仕様：B6判

96ページ

モノクロ



A Century of Discovery

● 歴史講演会の開催

先人達が築いてきた理研の歴史等を紹介する、職員等を対象とした歴史講演会シリーズ全10回を開催し、次世代へ伝える記録として、全講演をまとめた講演集を製作しました。(開催期間：2015年12月～2017年3月)

- ①大河内正敏「理化学研究所の設立と大河内正敏の経営」
- ②黒田チカ「女性科学者の先駆けへの道程」
- ③湯川秀樹、朝永振一郎「理研と湯川秀樹・朝永振一郎」
- ④長岡半太郎「世界と勝負した日本の物理学者」
- ⑤本多光太郎「金属の密林の大いなる開拓者」
- ⑥仁科芳雄「理論と実験の大いなるパイオニア」
- ⑦鈴木梅太郎 「20世紀を開くビタミンの発見」
- ⑧寺田寅彦、中谷宇吉郎  
「寅彦が行った理研学術講演会の異色のテーマ」
- ⑨「理研での宇宙線・宇宙物理学の研究」
- ⑩「日本の科学技術史と理研の果たした役割」



● 百年タイムカプセルの設置・展示

先人達が嘗々と築いてきた理研百年の歩みや現在の活動状況をタイムカプセルとして、百年後の後世に遺します。



和光地区に設置



タイムカプセルの収納品例



タイムカプセル

● 記念史料の収集・保存・展示等

貴重な史料(理研の歩みについての関係者証言など)を収集・保存・展示し、後世に伝えるとともに、理研HP (<http://www.riken.jp/pr/videos/history/>)で動画等を配信しました。

- ・板橋分所の研究活動を振り返る
- ・フェライト研究—武井研究室座談会
- ・歴史講演会の記録動画(第1回講演)
- ・創立百周年記念映像
- ・創立百周年記念式典理事長講演

このほか、我が国の科学史として貴重な史料の保存のため、百年史編纂と並行し、史料等の収集・保存を推進しています。



## 百周年連携研究室等の設置

### ●イノベーション事業法人の設立

理研は、研究成果をいち早く社会価値に還元するとともに、産業界との共創等によりイノベーションの促進を図るため、「科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律」に基づいて、理研の経営方針と一体となって活動する理研100%出資のイノベーション事業法人を設立します。出資に際しては、企業及び理研が連携して研究開発活動を展開する取組みの一環として、本事業の寄附金を活用させていただきます。

イノベーション事業法人では、①ライセンス (TLO) 機能、②ベンチャー支援機能、③共同研究促進機能、④会員制共創機能の4つの機能を担うとともに、これらを有機的に連携させることにより、イノベーション創出の新たなモデルとなることを目指します。

### ●連携研究室の設置支援

京都府との連携・協力の一環として、けいはんな学研都市に「理研 BRC の iPS 細胞創薬基盤開発連携拠点」を設置するにあたり、研究機器等の整備について支援しました。



高速クロマトグラフ質量分析計

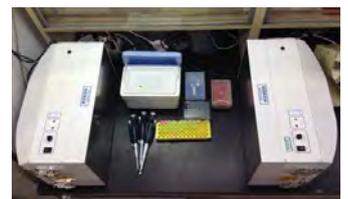


中央実験台

## 国際水準の研究環境の整備

### ●先端研究機器等の整備・充実

研究機器の現物寄附（4社5件）を受領し、新しい研究領域・分野関連の研究機器整備のため、希望研究室に設置しました。



テーブルコーチ（両端）



倒立型リサーチ顕微鏡



ステッピングモータコントローラ：  
ラック設置赤矢印



高性能電気炉

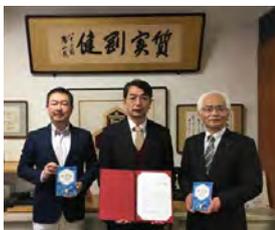


オープンクリーンベンチ：実験机両端

## 「科学道 100 冊」の贈呈



ブックレット



講演会・贈呈式  
滋賀県立虎姫高等学校 三上保彦校長先生(中央)、  
創業・医療技術基盤プログラム 橋爪マネージャー(左)、  
宍戸創立百周年記念事業推進室長(当時)(右)

### ●「科学道 100 冊」セットの贈呈

先進的な理数系教育による創造性豊かな人材育成に取り組んでいる平成 29 年度文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 203 校へ希望調査を実施し、希望校 195 校へ希望セット (100、60、30 冊セットの何れか 1 種類) を贈呈しました。



滋賀県立虎姫高等学校図書館

### ●「科学道 100 冊」

未知に挑戦しながら未来を切り開いていく科学者の見方、生き方、考え方に着目し、科学者の思考プロセスを 6 つのテーマに分けて 100 冊の本を選びました。

科学道 100 冊は中学生から大人の方を対象としています。2017 年 2 月から現在まで、理研と編集工学研究所が協力し、書籍を通じて、科学者の生き方・考え方、科学の面白さ・素晴らしさを伝える科学関係の本 100 冊を選書し、全国の教育機関、図書館、書店で「科学道 100 冊フェア」を開催。



科学道 100 冊 Web site : <https://kagakudo100.jp/>

## 若手研究人材のキャリア育成

### ● 国際的な人材交流の促進

海外からノーベル賞受賞者など著名な科学者を招聘し、理研内外の若手研究者等との交流の場として開催された国際シンポジウム 8 件の開催費用を助成しました。

#### ①生命システム研究センター

2016/9/5 ~ 2016/9/7 千里ライフサイエンスセンター  
「QBIC シンポジウム 2016"Decoding Organisms by Cell Profiling"」

#### ②ライフサイエンス技術基盤研究センター

2016/9/29 カロリンスカ研究所  
「第3回理研 CLST- カロリンスカ研究所 -SciLifeLab 合同シンポジウム」

#### ③グローバル研究クラスタ

2016/10/14 アキバプラザ  
「先端科学技術シンポジウム-自己組織化と新しい物質科学-」

#### ④脳科学総合研究センター

2016/12/10 コクヨホール  
「理化学研究所百周年・脳科学総合研究センター 20 周年記念シンポジウム～脳科学と社会の未来～」

#### ⑤平野染色体ダイナミクス研究室

2017/6/13 ~ 2017/6/16 山形県南陽市・南陽市文化会館  
「SMC タンパク質：バクテリアからヒトまで保存された染色体組織化因子」

#### ⑥予防医療・診断技術開発プログラム

2017/9/29 東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂  
「理化学研究所創立百周年記念 国際オミックスシンポジウム〈オミックス科学の医学応用への最前線 ~マイクロバイオーム創薬に向けて~〉」

#### ⑦大森素形材工学研究室

2017/10/18 板橋区立文化会館  
「第 41 回マイクロファブリケーション研究の最新動向」

#### ⑧ Kim 表面界面科学研究室

2017/11/20 ~ 11/23 東京大学伊藤謝恩ホール  
「理化学研究所創立百周年記念事業、ISSP 国際ワークショップ・表面界面分光 2017：表面・界面における分子動力学の最前線：単一分子から触媒反応まで」



BSI20 周年記念シンポジウム



ISSP 国際ワークショップ・表面界面分光 2017



第 41 回マイクロファブリケーション研究の最新動向 基調講演

\* 助成先は実施 2017 年度の組織名

### ● 若手研究者・技術者の顕彰

理研では40歳未満の所内若手研究者・技術者の顕著な功績を称え「研究奨励賞・技術奨励賞・産業連携奨励賞」を授与しています。

授賞式及び交流会を実施し、本事業寄附金による副賞の贈呈を10年に渡って継続します。



平成29年度授賞式  
(2018年3月15日)



## 未来を共につくる研究の推進

### ● 新しい元素を世界で初めてつくる研究

用途特定の寄附(2件)を研究室に配賦しました。

113番元素「ニホニウム」に続き、119番、120番元素の合成に挑戦しています。



(現、仁科加速器科学研究センター)

### ● 未来志向の独創的な研究の推進

若手研究者等が、自身の研究課題について理研HP上での動画により、一般社会の方々に自らが紹介・説明等を行い、その賛同者から研究資金等を寄附により獲得することにより、未来志向の独創的な研究を実施します。



# 創立百周年記念事業推進活動等

## ● 理研創立百周年に係る広報

広報活動促進の一環として、様々なツール等を製作しました。

- ① 百周年特設サイト
- ② 百周年マーク
- ③ 趣意書
- ④ リーフレット (3つ折り)
- ⑤ ポスター2種 (ビタミン、アルマイト)
- ⑥ 年表タペストリー
- ⑦ クリアファイル (図柄 理研ビタミンの瓶)
- ⑧ ぶくぶくシール (図柄 百周年マーク)
- ⑨ 理化学研究所創立百周年横断幕
- ⑩ 和光市に「ニホニウム合成・発見記念碑」を寄贈



趣意書



アルマイトポスター



特設サイト  
2015年4月公開



リーフレット



百周年マーク



クリアファイル



ニホニウム合成・発見記念碑 (2017年6月24日、和光市駅南口に設置)

● マスメディアによる広報

新聞・雑誌等への関連記事掲載にて、理研創立百周年事業をバックアップしました。

⑪ 広告記事掲載

- ・日本経済新聞（2017年4月26日付朝刊）
- ・月刊「日経サイエンス」7月号（2017年5月25日）
- ・日刊工業新聞（2017年3月17日）
- ・埼玉新聞（2017年12月25日）



日本経済新聞 全国版 22~23面

⑫ 寄稿記事掲載

- ・月刊「化学」6月号（2017年5月18日）

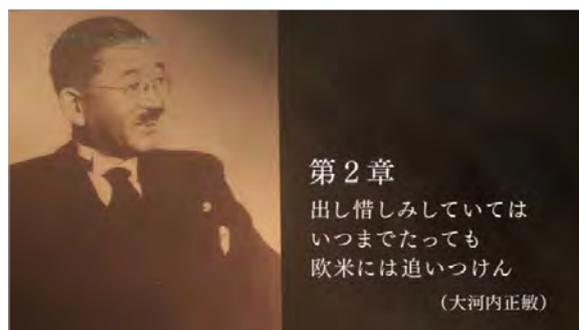


⑬ 新聞掲載等

- ・毎日新聞（2017年1月19日付朝刊）
- ・読売新聞（2017年3月16日付夕刊（東京）、24日付朝刊（大阪））
- ・朝日新聞（2017年6月15日付朝刊）
- ・日刊工業新聞（2017年6月14日～16日）
- ・日本経済新聞（2017年12月4日付朝刊）

⑭ TV放映等

- ・放送大学（2018年3月31日を皮切りに4年間放映予定）  
「科学技術立国への挑戦～理化学研究所の100年を通して～」



# 感謝状の贈呈等

## 寄附者特典等

(特典対象の寄附者で、且つ希望者のみ)

### ● 感謝状の贈呈

寄附金額により、ブルー、またはゴールドの理事長名の感謝状を贈呈



### ● 個人寄附者への特典

基準額に達している個人寄附者へオリジナル記念品を贈呈

- ・理研百周年オリジナル「ネックストラップ」
- ・理研百周年記念名入り「長角箱」または「うすはりボルドーグラス」の選択制



グレー



ルビーレッド

### ● 芳名銘板の掲示

寄附者（累積一定額以上）の方々を永きに亘り顕彰

- ・ 設置場所：和光地区



長角箱



底面サンドブラスト



桐箱専用ケース

### ● 芳名録の作成

寄附者を掲載した芳名録を作成し、感謝の意を表し、「理研創立百周年寄附者芳名録（PDF）」を理研 HP に公開。

( <http://www.riken.jp/about/support/benefits/> )

### ● 百年タイムカプセルの展示

参加企業毎に、後世に伝承する収納品を百年タイムカプセルに格納し、理研と共に展示中

- ・ 参加企業：8社（累積寄附額が基準以上、且つ希望のあった法人寄附者）
- ・ 設置・展示場所：和光地区



除幕式（2018年3月23日）

### ● 理研の歴史 ビデオライブラリー

理研の歴史を振り返ることができる動画を右記 URL にまとめまして、紹介しています。

(<http://www.riken.jp/pr/videos/history/>)



#### 主な動画



2018年12月20日 [YouTube](#)  
[理研百年タイムカプセル メイキング動画](#)



2015年7月15日 [YouTube](#)  
[理研の歴史：フェライト研究、武井研究室座談会](#)



2015年4月28日 [YouTube](#)  
[理研の歴史：板橋分所の研究活動を振り返る](#)



2010年3月23日 [YouTube](#)  
[理研紹介映画『科学の殿堂』ダイジェスト版（昭和17年制作）](#)



2005年3月31日 [YouTube](#)  
[女性科学者のパイオニアたち 4 吸収スペクトルで物質を探る 加藤セチ](#)



2007年3月31日 [YouTube](#)  
[道もなき道みわけて—女性科学者の100年—女性科学者のパイオニアたち総集編](#)

## 主な活動

2006（平成 18）年 6 月 1 日 創立百周年記念事業推進委員会、  
2013（平成 25）年 5 月 1 日 創立百周年記念事業推進室、  
2015（平成 27）年 11 月 27 日 創立百周年記念事業推進委員会に  
百年史編集委員会を設置し、記念事業を推進。

### 創立百周年記念事業推進委員会

- ・ 25 回開催  
（第 1 回 2006 年 12 月 28 日～第 25 回 2019 年 1 月 23 日開催迄）
- ・ 第 6 回理研の歴史講演会（仁科芳雄）筑波開催  
講師：矢野 安重 公益財団法人 仁科記念財団常務理事、理研  
名誉研究員

### 板橋分所廃止に伴う座談会（理研関係者）

- ・ 板橋分所の研究活動を振り返る（フェライト、宇宙線、電子計算機）
- ・ 板橋分所の研究活動を振り返る（青野プロジェクト）
- ・ 第 7 回理研の歴史講演会（鈴木梅太郎）横浜開催  
講師：小川 智也 研究顧問、名誉研究員、元副理事長

### 百年史編纂にかかるオーラルヒストリーインタビュー（理研関係者）

- ・ 大石 武 元主任研究員（主任会元議長）
- ・ 永井 美之 元新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター長
- ・ 豊島 久真男 元遺伝子多型研究センター長
- ・ 細江 繁幸 元バイオ・ミメティックコントロール研究センター長
- ・ 和田 昭允 元ゲノム科学総合研究センター所長
- ・ 伊藤 正男 元脳科学総合研究センター所長
- ・ 丸山 瑛一 元フロンティア研究システム長
- ・ 上坪 宏道 元主任研究員、元理事、元中央研究所長
- ・ 第 8 回理研の歴史講演会（寺田寅彦 / 中谷宇吉郎）  
講師：池内 了 総合研究大学院大学名誉教授、名古屋大学名誉  
教授
- ・ 第 9 回理研の歴史講演会（理研での宇宙線・宇宙物理学の研究）  
講師：牧島 一夫 理研 グローバル研究クラスター 宇宙観測実験  
連携研究グループディレクター
- ・ 第 10 回理研の歴史講演会  
（日本の科学技術史と理研の果たした役割）  
講師：丸山 瑛一 名誉研究員、元フロンティア研究システム長  
講師：岡本 拓司 東京大学大学院総合文化研究科 准教授

### 歴史講演会＊講演会当時の所属等を記載

- ・ 第 1 回理研の歴史講演会（大河内正敏）  
講師：斎藤 憲 専修大学大学院経営学部研究科、専修大学経営  
研究所長
- ・ 第 2 回理研の歴史講演会（黒田チカ）  
講師：黒田 光太郎 九州産業大学特任教授、名古屋大学名誉  
教授  
講師：志賀 祐紀 奈良女子大学大学院人間文化研究科、元お茶  
の水女子大学歴史資料館アカデミック・アシスタント
- ・ 第 3 回理研の歴史講演会（湯川秀樹 / 朝永振一郎）  
講師：江沢 洋 学習院大学名誉教授
- ・ 第 4 回理研の歴史講演会（長岡半太郎）  
講師：有賀 暢迪 国立科学博物館研究員  
講師：稲村 卓 元主任研究員
- ・ 第 5 回理研の歴史講演会（本多光太郎）  
講師：増本 健 東北大学名誉教授

### 百周年シンポジウム

- ・ QBiC シンポジウム 2016  
"Decoding Organisms by Cell Profiling"
- ・ 第 3 回理研 CLST- カロリンスカ研究所  
-SciLifeLab 合同シンポジウム
- ・ 先端科学技術シンポジウム—自己組織化と新しい物質科学—
- ・ 理化学研究所百周年・脳科学総合研究センター 20 周年記念  
シンポジウム～脳科学と社会の未来～
- ・ SMC タンパク質：バクテリアからヒトまで保存された染色体組織化  
因子
- ・ 理化学研究所創立百周年記念 国際オミックスシンポジウム  
〈オミックス科学の医学応用への最前線 ～マイクロバイオーム創薬に  
向けて～〉
- ・ 第 41 回マイクロファブ리케이션研究の最新動向
- ・ 理化学研究所創立百周年記念事業、ISSP 国際ワークショップ・表  
面界面分光 2017

## 主な活動

### 日本郵便プレスリリースと特殊（記念）切手発行

- ・「2017（平成 29）年度特殊切手発行計画」
- ・特殊切手「理化学研究所創立 100 周年」の発行
- ・日本郵便 特殊切手「理化学研究所創立 100 周年」発売

### 書籍等発行

- ・「理化学研究所 100 年目の巨大研究機関」山根 一眞著  
講談社ブルーバックス
- ・RIKEN Research 百周年特集号発行
- ・文部科学省広報誌 211 号（Web）  
理化学研究所創立100周年記念式典
- ・理研の歴史講演会 講演集発行
- ・理化学研究所百年史発行
- ・百年史ダイジェスト版発行
- ・百年史英語版発行

### 広報誌 RIKEN

- ・2017（創立百周年記念式典）
- ・2018（創立百周年記念事業）

### RIKEN NEWS

- ・No.423 September 2016（百周年推進室長インタビュー）
- ・No.430 April 2017（理研記念切手発売インタビュー）
- ・No.450 December 2018（理研 創立百周年記念事業）

### イベント

- ・国立科学博物館 理化学研究所百年展
- ・国立科学博物館日本館講堂 理化学研究所百年展講演会  
講師：岡本 拓司 東京大学大学院総合文化研究科 准教授  
講師：辨野 義己 理研 特別招聘研究員
- ・東京国際フォーラム 理化学研究所創立百周年記念式典
- ・東京国際フォーラム 理化学研究所創立百周年記念交流会
- ・和光市民文化センター 理化学研究所百年展
- ・和光市民文化センター 科学と音楽のコラボ公演
- ・和光市民文化センター 科学工作教室
- ・和光移転 50 周年式典
- ・記念碑贈呈 和光市ニホニウム通り式典

- ・神戸市青少年科学館 理化学研究所百年展
- ・神戸市青少年科学館 記念講演会  
「細胞が集まって体ができるしくみ」  
講師：竹市雅俊 多細胞システム形成研究センター 高次構造形成研究チームリーダー
- ・神戸市青少年科学館 記念講演会  
「スパコンって何だろう？何が出来るんだろう？」  
講師：横川 三津夫 計算科学研究機構 客員主管研究員
- ・仁科会館（岡山県浅口郡里庄町）、理化学研究所百年展
- ・所内百周年交流会 西日本
- ・所内百周年交流会 東日本

### 科学道 100 冊贈呈

- ・H29 年度 SSH 指定校 203 校希望調査
- ・希望校、全国 195 校へ発送
- ・栃木県知事感謝状受領

### 映像公開

- ・記念式典「創立百周年記念」映像
- ・記念式典「理事長講演」映像
- ・「理研百年タイムカプセルメイキング」映像

### 現物寄附

- ・7 件受入れ

### 百年タイムカプセル

- ・アイテム収集
- ・全 250 アイテムの撮影
- ・封入・封緘（窒素充填）
- ・除幕式

### 若手人材育成

- ・「研究奨励賞・技術奨励賞・産業連携奨励賞」授賞式

### 事業報告書

- ・理化学研究所創立百周年記念事業報告書

# 理化学研究所 百年の歩み

理化学研究所は1917年（大正6年）、  
学問の力によって産業の発展を図り、  
国運の発展を期する使命を  
果たさんとする目的で設立された。



## 財団法人理化学研究所設立

渋沢栄一を設立委員長として（財）理化学研究所の設立を申請。皇室からの御下賜金、政府からの補助金、民間からの寄附金を基にわが国の産業の発展に資することを目的に1917年3月20日、現東京都文京区本駒込の地に設立された。



## 財団法人理化学研究所解散、 株式会社科学研究所設立

終戦後、過度経済力集中排除（財閥解体）により1947年に理研産業団は解体。初代株式会社科学研究所の社長は仁科芳雄であった。1952年さらに生産部門を分離し科研化学（株）（現 科研製薬株式会社）となる。

1917

財団法人時代

1948

1913

1922

1927

1945

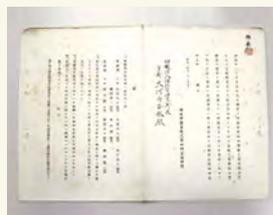
## 高峰讓吉

「国民科学研究所」設立の必要性を提唱

高峰は、「世界は、理化学工業の時代になる。わが国も理化学工業によって国を興そうとするなら、基礎となる純正理化学の研究所を設立する必要がある」と主張。

## 主任研究員制度が発足

駒込本所以外の各帝国大学に研究室を置くのも自由とし、理研からの研究費で研究員を採用し研究を実施した。長岡半太郎、池田菊苗、鈴木梅太郎、本多光太郎、大河内正敏、田丸節郎、喜多源逸、高嶺俊夫、西川正治等の14研究室で発足。



## 理化学興業株式会社を創設

研究資金に困窮したため、理研の発明を理研自身が製品化する事業体として理化学興業株式会社を創設して、多くの生産会社を創り技術収入を基礎研究資金に充てた。後に「理研コンツェルン」を構成し、1939年頃には最大規模の会社数63、工場数121となった。



## 原子爆弾投下、太平洋戦争終結。 サイクロトロン、海洋に投棄される

新型爆弾が投下された広島へ、仁科研究室から調査団が派遣され、原子爆弾であることを確認した。

## 理化学研究所 発展の偉人たち

輝かしい研究成果と人材を世に送り出し、研究所発展を支え、巧みな研究所経営を行った先人の功績は大きい。



## 工学博士、薬学博士 高峰 讓吉

1890年に米国に渡り、アドレナリン等の業績で世界の産業界に影響を与え、理研設立を提唱。



## 財団法人理化学研究所 第三代所長 大河内 正敏

主任研究員制度の設立、理化学興業の創業など理研の基礎を作った。



株式会社科学研究所解散、  
特殊法人理化学研究所設立

慢性的な財政難に陥っていた科学研究所に対し、政府による援助強化という観点から科学技術庁（1956年設立）所管の特殊法人として改組。理事長 長岡治男が就任。

研究室業績レビュー制度を開始

外部レビュアーが主任研究員研究室の研究活動を評価・助言する制度。

国際フロンティア研究システムを設置

科学技術の根源となるような独創性豊かな研究を目指し、任期制雇用制度を採り入れた新しい研究システム。

株式会社時代

1958

特殊法人時代

1949

1967

1983

1984

1986



湯川秀樹、  
ノーベル物理学賞受賞

湯川は、1961年に理論物理研究室を立ち上げ主任研究員として活躍。



駒込から埼玉県大和町（現 和光市）へ  
移転し、大和研究所開設

長岡理事長と坂口副理事長の関係各所への嘆願により、米軍接収地であった大和モモテハイツ地区を政府から現物出資として受け、大和研究所を開設。本部を移転。



現つくば市にライフサイエンス  
筑波研究センターを開設

組換え DNA 研究を効率的に推進する目的で「筑波研究学園都市」内に設置された。現在ではバイオリソースセンターが活動。



財団法人理化学研究所  
第四代所長  
株式会社科学研究所  
初代社長  
仁科 芳雄

日本の理論物理、加速器研究の礎を作り、湯川・朝永らを輩出。また、戦後苦難の時代、社長として活躍。



理研OB会 初代会長  
ノーベル物理学賞 受賞  
朝永 振一郎

大学卒業後、仁科研究室で量子力学を学ぶ。自由闊達な理研の雰囲気「初めて大学に入った気がした」と語っている。

# 創立百周年を迎えた理化学研究所は、これからも



兵庫県佐用郡に播磨研究所を開設、大型放射光施設「SPring-8」供用開始

日本原子力研究所（現 日本原子力研究開発機構）と共同で、6年間の建設期間を経てSPring-8を稼働させた。以降、世界最高性能を維持し続けている。

米国ブルックヘブン国立研究所 (BNL) に理研 BNL 研究センターを開設

任期制研究者からなる初のセンター体制として脳科学総合研究センターを開設



神戸市に発生・再生科学総合研究センターを開設

2017年現在では、多細胞システム形成研究センターに改組され、さらに生命システム研究センター、ライフサイエンス技術基盤研究センターを開設し、3センターで神戸第1地区として活動。



ヒトゲノム全解読の完了

日本など6ヶ国の国際協力による国際ヒトゲノム計画は、理研ゲノム科学総合研究センターを含む、日本の研究陣が積極的に関与し、ヒト染色体のドラフト解読に続き、全塩基配列の解読に至った。

## 特殊法人時代

1989

1990

1993

1995

1997

1998

2000

2003

2004

連携大学院制度を開始

研究機関と大学間の研究活動を一層活性化させる日本初のシステムを創始。

基礎科学特別研究員制度を開始

将来国際的に活躍する若手研究者を育成するため、自らが設定した研究課題について、自由な発想で研究できる場を提供。

フォトダイナミクス研究センターを仙台市に開設

理研アドバイザーカウンシル (RAC) の実施

研究所の運営について、国内外の有識者・専門家が評価・助言する日本初の国際的外部評価システム。

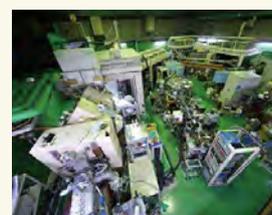
バイオ・ミメティックコントロール研究センターを名古屋市に開設

英国ラザフォード・アップルトン研究所 (RAL) に RAL 支所を開設



横浜市にゲノム科学総合研究センターを開設

政府の「ミレニアム・プロジェクト(新しい千年紀プロジェクト)」の実施主体として、理研にライフサイエンス系研究センターの開設が始まる。横浜地区は、2017年現在では、研究の発展に伴いセンターの改廃を経て、ライフサイエンス技術基盤研究センター、統合生命医学研究センター、環境資源科学研究センターの3センターで活動。



113番元素の合成に成功

原子番号83のビスマス標的に原子番号30の亜鉛ビームを照射し、約100兆回の衝突を行わせ、113番元素を1原子合成し、その生成を確認。

# 新たな歴史を刻み続けます。



## 独立行政法人 理化学研究所設立

1999年特殊法人等整理合理化計画を受け、特殊法人理化学研究所を解散し、独立行政法人理化学研究所として新たなスタートを切る。理事長 野依良治。

## 社会知創成事業設置

個別の成果である「個人知」を連携・融合させて「理研知」として展開し、理研の成果を「社会知」として還元する産業界連携事業として設置。2015年に、社会知創成事業を産業連携本部へ改称し活動。

## 計算科学研究機構開設

スーパーコンピュータ「京」の運用と計算環境の整備、計算科学と計算機科学を連携させた研究を行い、成果を創出することを目的として設立。



## 国立研究開発法人 制度へ移行

国立研究開発法人理化学研究所として、新たなスタートをきり、松本紘新理事長のもと、研究開発成果の最大化を目指す。2016年10月特定国立研究開発法人へ。

# 理化学研究所 創立百周年

独立行政法人時代

国立研究開発法人時代

2006

2010

2011

2012

2013

2015

2016

2017



シンガポール  
連絡事務所開設

## 大阪府吹田市に生命システム 研究センターを開設

大阪大学の協力で設立した研究センター、大阪大学吹田キャンパス内に活動場所を設け、大学のボトムアップ研究と有機的な連携を図っている。

## 創発物性科学研究センター、 環境資源科学研究センター 設置

2009年「新成長戦略」における政府のグリーンイノベーション推進を契機として、理研内にあった環境・省エネルギー研究を統合し、新たな研究所の柱として位置づけた。

## 科学技術ハブ推進本部設置

研究所を中核として、異分野・異業種の大学・研究機関・病院・企業等が共同で研究開発等に取り組むための拠点（科学技術ハブ）を整備することにより、科学技術力の強化・イノベーション創出を目指す。

## 革新知能統合研究センター (AIP) を開設

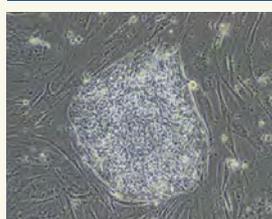
革新知能統合研究センターは、文部科学省が推進する「人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト」事業の研究開発拠点としてスタート。2017年よりAIP、東京連絡事務所に東京都中央区日本橋に移転。



超電導リングサイクロトロン  
完成

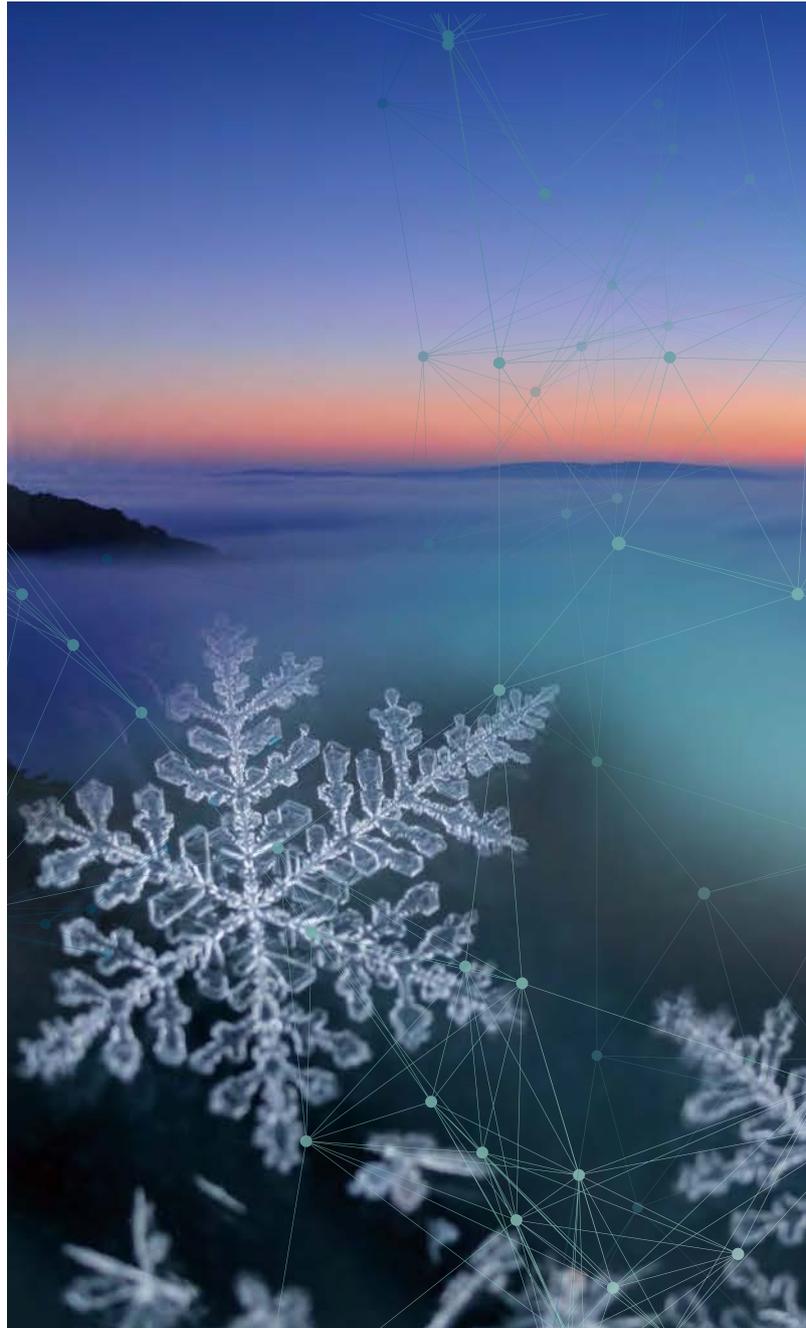


X線自由電子レーザー施設  
「SACLA」供用開始、  
スーパーコンピュータ  
「京」共用開始



iPS細胞を用いた  
世界初の臨床研究を開始

113番元素の元素名  
「nihonium (ニホニウム)」、  
元素記号「Nh」が正式決定



国立研究開発法人理化学研究所  
[www.riken.jp](http://www.riken.jp)